

気象衛星ひまわりと 地球観測の最前線

気象衛星ひまわりや地球観測衛星は、天気予報や防災、豪雨や洪水、また地球温暖化に関する科学的研究などの幅広い分野において重要な役割を果たしています。特に日本のように自然災害の多い国においては、人工衛星の活用は国民の命を守るために必要不可欠な技術です。

本公開気象講座では、気象衛星ひまわりの役割や地球観測衛星による雲や降水観測についての最新の知見を紹介します。

2025.1.19(日) 13:00▶▶ 16:00 (12:30開場)

名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

「気象衛星ひまわりの役割と次期気象衛星について」

勝山 健一 (気象庁 情報基盤部 気象衛星課 衛星整備計画官)

「地球観測衛星による雲・降水観測の最前線」

久保田 拓志 (宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門
地球観測研究センター 研究領域主幹)

対象：高校生以上

定員：200名

参加料：入館時に観覧料が必要です。

大人400円、大学・高校生200円 (要学生証)

申込方法：右記コードの応募フォームから申し込みいただけます。先着順となります。

申込切：応募定員に達し次第終了となります。

問合せ先：日本気象学会中部支部事務局 (eメール chubu-admin@netsoc.jp)

申し込みは下のアドレスまたはこちらから

<https://forms.office.com/r/afdcwb0cN0>

